

The Mille Has Times

2026
NEW YEAR
VOL.15

1月24日・25日舞台「飛び立つ前に」
愛と喪失 豪華キャストで

Interview

3月開催「あきた民謡フェスvol.3」特集

舞台「飛び立つ前に」／俳優 岡本圭人さん

世界に誇る“MINYO”発信

3月15日「あきた民謡フェスvol.3」開催 — チケット1月上旬発売!! —

民謡の新たな可能性を発信する「あきた民謡フェスvol.3」が3月15日、あきた芸術劇場ミルハス中ホールで開催される。3回目の今回は、特別ゲストとして純邦楽ユニット「WASABI」がステージを盛り上げる。このほか、4人組

若手民謡ユニット「みんようユリism」から川井ふたばさん(17)＝秋田西高3年＝と荒瑞加さん(20)＝仙台市、秋田民謡界をけん引する小野花子さんら多彩な顔ぶれが出演する。チケットは1月上旬に発売予定。



数々の民謡大会で優勝経験を持ち、今後も活躍が期待される川井さん

川井ふたばさん／秋田西高3年

若い世代にも 届けたい

「あきた民謡フェスvol.3」に出演する川井ふたばさん(17)は、数々の民謡大会で上位入賞を重ねている実力者。県内の若手民謡歌手らでつくる「BA5E(ベイス)」の一員として、若い世代に民謡の魅力を伝える活動にも取り組んでいる。民謡フェスには2年連続の出演となる。「普段民謡になじみのない人も含めて、たくさんの人に来てほしい」とアピールする。

民謡を習い始めたのは6歳のころ。幼稚園の民謡体験イベントがきっかけだった。「もともと歌うことが好き。民謡が他の歌と違うのは、こぶしの入れ方などに人それぞれ個性が出ること。地方によっても歌い方が変わるので、聴いていて飽きないのも魅力」と語る。

2025年は本荘追分全国大会や秋田飴売り節全国大会で優勝を飾り、民謡日本一選手権で準優勝するなど大活躍した。大人顔負けの歌声で魅了する一方、BA5Eの活動では同年代の仲間と一緒に地域のイベントや祭りなどのステージに立つ。民謡だけでなく流行のポップス曲をダンスを交えて歌うなど、型にはまらないパフォーマンスで楽しませている。

10～20代の若手女性民謡歌手4人でつくる民謡ユニット「みんようユリism」のメンバーとして、同年

11月にCDデビューも果たした。津軽三味線奏者の吉田良一郎さん(48)がプロデュースし、4人が1人ずつ地元の民謡を歌ってCDに収めた。川井さんの収録曲は「秋田音頭」。伴奏はサクソなどさまざまな楽器が使われ、ノリの良い雰囲気にアレンジされている。川井さんは「民謡に堅苦しいイメージを持つ人もいるかもしれないけれど、Jポップみたいに気軽に聴いてほしい」と話す。吉田さんは「他にはないパワフルな歌声がふたばさんの魅力」と評価する。

みんようユリismのメンバーは川井さん以外、北海道、鹿児島、宮城にそれぞれ在住している。今のところ4人そろってのステージ活動は予定していないが、川井さんは「大会で顔を合わせたことがあるメンバーもいる。同じ志を持って歌っている仲間として刺激を受け、もっと頑張ろうと思える」と喜ぶ。

3月は高校の卒業式も控えている。県内での進学を希望しており、受験勉強や面接練習にも精を出す。「これからもずっと歌い続ける。将来は民謡と秋田の郷土料理をどちらも楽しめる観光施設をつくるのができたらいいな」と夢を膨らませた。



「みんようユリism」のCDジャケット。左から2番目が川井さん

純邦楽ユニット WASABI

吉田良一郎さん／津軽三味線



津軽三味線、尺八、太鼓、箏の純邦楽ユニットとして活動しているWASABI



よしだ・りょういちろう

1977年北海道生まれ。弟の吉田健一さんとともに津軽三味線ユニット「吉田兄弟」として1999年メジャーデビュー。世界各国で演奏活動を展開しているほか、さまざまなアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。2008年に始めた学校公演プロジェクトをきっかけに、純邦楽ユニット「WASABI」が誕生。

現代に響く和の音楽を

WASABIは津軽三味線の吉田良一郎さん(48)と尺八の元永拓さん(51)、太鼓・鳴り物の美鵬直三朗さん(47)、箏の市川慎さん(50)の4人で構成。和楽器だけのオリジナル曲の演奏にこだわり、現代の感性を加えた新しい「和の音楽」を国内外に届けている。市川さんは秋田市出身。

吉田さんは2008年、元永さんと美鵬さんとともに学校公演プロジェクトを中心に活動するWASABIを結成。10年に市川さんが加入し活動を本格化させた。

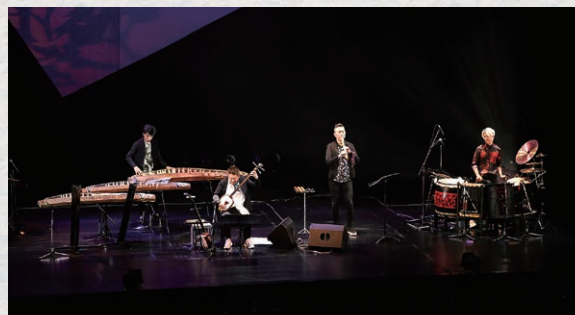
「和楽器の伝統曲を演奏する人はたくさんいる。WASABIはオリジナル曲で、和楽器の良さを分かりやすく、かっこよく伝えたい」と話し、AメロやBメロ、サビのあるキャッチーな構成を意識した曲作りを大切にしている。「和楽器の伝統を後退させないために、『攻める側』でいたいとすごく思っている。民謡だって、昔のはやり歌が歌い継がれてきたから今に残っている。今この時代にはやる曲を作らないといけない」と力を込める。

津軽三味線の兄弟ユニット「吉田兄弟」としても活躍している吉田さん。5歳で三味線を習い始め、中学を上がるころに津軽三味線と出会った。高校卒業後は都内の民謡酒場に住み込みで修業をし、全国各地の民謡を覚えて伴奏をした。「僕の原点は民謡。三味線の良さは民謡の中に全部入っている。民謡を大切にしないと三味線の良さは腐れていく」と話す。

担い手の高齢化を背景に民謡界の活気が薄れていくことを危惧している。「民謡界に新しい波を起こしたい」と、4人組若手民謡ユニット「みんようユリ

ism」をプロデュース。2025年11月にCD第1弾をリリースした。通常は三味線と尺八による伴奏が洋楽器を使ってアレンジされており、従来とは異なる現代的な雰囲気の民謡を聴くことができる。

民謡や和楽器の業界を盛り上げるためには「古典的な部分と発展的な部分の両方の側面を持った奏者が必要」と語り、今の時代に共鳴する音楽の伝え方を模索する。3月の民謡フェスについて「日本ならではの音の揺れを楽しみ、新しい発見ができる機会になるはず。日本の音にはたくさんの可能性があるのだということを感じてほしい」とPRした。



©Atelier BOLERO

公演概要

- ◆日時: 2026年3月15日(日)
13:30開演(13:00開場)
- ◆会場: あきた芸術劇場ミルハス 中ホール
- ◆チケット: S席3,500円/A席2,000円/学生500円

【プレイガイド】ミルハス公式サイト/ミルハス1階管理
事務室/電話予約(ミルハスTEL:018-838-5822)

主催/あきた芸術劇場ミルハス、秋田魁新報社



詳細はこちら

開館3周年! 多彩

あきた芸術劇場ミルハスの開館3周年を記念した3公演が2025年9月21日、ミルハス各ホールで多彩に行われた。中ホールで開催した「MILLEHAS MUSIC FES」には秋田ゆかりのアーティスト4組が出演。秋田市を拠点に

活動する劇団「けやはす演劇部」は、小ホールBで2つの演劇を披露した。大ホールでは、本県出身のプロ音楽家らと県内の学生たちによるこの日限りの吹奏楽団「あきたドリームプラス」がきらびやかな演奏を響かせた。



子どもたちと一緒に歌った松本さんのパフォーマンス

「MILLEHAS MUSIC FES」に出演したのは、歌手の松本英子さんと近野淳一さん、5人組アカペラグループ「夜にワルツ」、姉妹デュオ「奈良姉妹」の4組。それぞれ異なるジャンルの音楽で幅広い層の観客を魅了した。

「夜にワルツ」はジャズワルツを基調としたユニークな編曲が特徴で、リードボーカル彩葉さんは大仙市在住。「赤いスイートピー」「夜に駆ける」など6曲を歌い上げた。また、パートごとの歌声の重なりを実演しながら解説し、アカペラの表現の多様さを伝えた。

実の姉妹で活動している奈良姉妹は鹿角市出身で、ポップス曲をカバーした動画がインターネット上で人気を集めている。投稿動画の中で最も再生された「アイノカタチ」など4曲を歌い、会場を沸かせた。秋田弁を交えた和やかなトークでも楽しませた。

近野さんは、秋田を拠点とする人気ロックバンド「鴉」のボーカル・ギターとしても活動している。鴉のヒット曲「巣立ち」をはじめ4曲を熱唱した。「秋田に住んで、秋田で得たもの、そして秋田の外で得

音楽で秋田を元気に

MILLEHAS MUSIC FES

たものを皆さんに届けていくことを使命と思っている」と話し、地元愛をにじませた。

秋田市出身の松本英子さんは、自身のヒット曲「squall」など5曲を披露した。サッカーJ2ブラウブリッツ秋田の公式応援ソング「BLUE FLAME」は疾走感あふれるナンバー。会場にいた子どもたちを舞台に上げ、一緒にタオルを振り回しながら歌った。



息の合った歌声を響かせた奈良姉妹

なステージ盛大に

けやはす演劇部

巧みな芝居で引き込む

けやはす演劇部は、2022年のミルハス開館記念事業の一環で上演した県民・市民参加型ミュージカルの出演者を中心に結成された。劇団として3回目の公演となった今回は、「星の旅路～銀河鉄道の夜より～」と「俺の屍を越えていけ」の2作品を上演した。

「星の旅路」は夜空を走る「銀河鉄道」の車内が舞台で、個性豊かな乗客たちが次々と登場。「本当の幸せ」とは何かを考えさせられる作品展開が巧妙だった。照明や音響を効果的に使い、ファンタジックな物語の世界に観客を引き込んだ。

「俺の屍を越えていけ」は、とある放送局に勤める6人の社員の会話を軸にした作品。6人は「リストラする管理職を1人、話し合いで決める」という難題を与えられる。観客は、6人それぞれの思いが交錯する軽妙な芝居に夢中になっていた。



「俺の屍を越えていけ」のワンシーン

あきたドリームプラス

圧巻のフィナーレ感動

大ホールで演奏会をした「あきたドリームプラス」には、本県ゆかりのプロ音楽家15人と県内の学生有志97人が参加。指揮は羽後町出身の阿部未来さんが務めた。

出演したメンバーたちは、8月から5日間計25時間におよぶ練習を重ねた。中高生や大学生たちはプロ音楽家の指導を受けながらスキルを磨き、本番を迎えた。

ジェイムズ・バーンズの「アルヴァマー序曲」で幕開け。緩急のある構成と歌心のある旋律が吹奏楽ファンを楽しませた。1978年に秋田県吹奏楽連盟創立20周年を記念して作られた兼田敏の「コンサートマーチ『あきた』」も演奏され、観客は伸びやかな「秋田らしい」曲調に聴き入った。

フィナーレを飾ったのはフィリップ・スパークの大作「ドラゴンの年」。高度なテクニックと深い表現力を求められる難曲でありながら、息の合ったダイナミックな演奏を見せた。指揮者を含む総勢112人に、観客から惜しみない拍手が送られた。



この日だけの「あきたドリームプラス」が吹奏楽ファンを魅了

大仙市の40代会社員男性

「けやはす演劇部の公演が2本とも面白かった。ミルハスには楽器演奏や朗読の公演などを見によく来ている。これからも県民、市民の文化活動を支える場所としてたくさんの人に活用されてほしい」



秋田市の40代会社員男性

「音楽が好きなので、有名な歌手やバンドがミルハスに来るのを楽しみにしている。ミュージックフェスで奈良姉妹を初めて知り、ハーモニーがとてもすてきだった。県内出身のアーティストも応援していきたい」

秋田市の70代女性

「ドリームプラスコンサートを楽しんだ。とても美しい演奏で、プロ音楽家が学生たちの力を引き出していたように感じた。ミルハスでたまに開催しているロビーコンサートも好きなので、もっとたくさん企画してくれたらうれしい」

仙北市の50代女性

「けやはす演劇部の公演は、『天』を感じさせる1部と、どろどろの『地』を感じさせる2部のギャップが面白かった。ミルハスにはこれからも、芝居をやりたい人たちが生き生きと活動できる場をつくってほしい」

秋田市の30代会社員男性

「『夜のワルツ』の皆さんの歌唱力が素晴らしく、音響の迫力もすごく感動した。もうすぐ子どもが生まれるので、ミルハスが取り組んでいるミュージカルの子ども招待事業などはぜひ継続してほしい」

Interview

インタビュー



舞台「飛び立つ前に」が1月24日と25日の両日、あきた芸術劇場ミルハス中ホールで上演される。公演に先立ち、出演する岡本圭人さん(32)がミルハスを訪れ、インタビューに応じた。「人間の本质に迫るような作品。どんな世代の人にも楽しんでもらえると思う」とPRした。

—作品のストーリーや見どころを教えてください。

50年連れ添った夫婦とその家族の物語で、愛や喪失などをテーマに描いています。夫アンドレを橋爪功さん、妻マドレーヌを若村麻由美さんが演じます。最後の最後まで何が本当で何が虚構なのかを明かさないので作家フロリアン・ゼレールの作風。今作も例外ではなく、全てお客さまが感じるままに受け取る作品になっています。

—作品を理解するポイントは。

アンドレとマドレーヌが生きているのか、それとも亡くなっているのか。それを考えながら見ると、舞台をより楽しめると思います。答えは台本にもありません。お客さまに届かないとこの作品がどう着地するのか分からないので、僕自身もすごくわくわくしていますね。

—岡本さんはどんな役柄を演じるのか。

前田敦子さんが演じる次女エリーズのフィアンセ・ポール役を演じます。夫婦とその娘たちを中心に展開する作品の中で、ポールは異質な存在です。家族の中に入る瞬間もあれば、家族を脅かすような側面もあります。僕が演じるポールを通じて、劇場に感情の嵐を



撮影:細野 晋司

1月上演舞台

「飛び立つ前に」



エリーズのフィアンセ
ポール役/俳優

岡本圭人

巻き起こせたらいいなと思っています。

—橋爪功さんをはじめとする豪華キャストが顔をそろえる。

橋爪さんの芝居を見ていると、役柄なのか本人なのか分からなくなる時があって、個人的にはそこが橋爪さんの演技の一番好きなところです。稽古場で橋爪さんから直々にご指導いただく時間もありました。「演じようとしなくて、ただそこにいればいい」などと助言をもらい、僕の個性を生かしてシーンを良くしようと考えてくださったのがとても印象的でした。

—ミルハスの舞台に立つのは2024年1月に上演した朗読劇「ラヴ・レターズ」以来になる。ミルハスにどのような印象を抱いているか。

きれいで音響も良く、すごく素敵な劇場ですね。周辺の自然が豊かで、公演の前後に気持ち良く散歩ができるところも、都会の劇場にはない良さです。中ホールは演者もお客さまもすごく集中できる環境だと思います。「飛び立つ前に」の秋田公演は、長い東京公演が終わった後の地方公演の終盤の日程。公演を重ねるにつれて、演じる側も作品の解像度が増していくので、秋田でどんな舞台が届けられるのかすごく楽しみです。

公演概要

◆日 時: 2026年1月24日(土)・25日(日)
両日とも14:00開演(13:30開場)

◆会 場: あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

◆料 金: 一般11,000円/25歳以下6,600円

【プレイガイド】ミルハス1階管理事務室/
ミルハス公式サイト/ミルハス電話予約/
さがしげニュースカフェ

主催/あきた芸術劇場ミルハス、秋田魁新報社



チケット購入は
こちらから

感情の嵐巻き起こす

2026年 1月・2月・3月

公演・イベント情報

1/5(月)

●大ホール

秋田南高校吹奏楽部
ニューイヤーコンサート
2026

18:00開演

【お問い合わせ】
秋田南高校 TEL:018-833-7431

2/7(土)

●大ホール

陸上自衛隊
東北方面音楽隊コンサート
2026in秋田

14:00開演

【お問い合わせ】陸上自衛隊秋田地方協力本部
TEL:018-823-5404 ※1/5まで要申込

3/6(金)

●大ホール

AROUND40
MEMORY CONCERT
-FOREVER-

18:30開演

【お問い合わせ】
エフエム秋田 TEL:018-824-1155

1/12(月・祝)

●大ホール

K/バレエ・オブ
『踊る。遠野物語』

15:00開演

【お問い合わせ】
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

2/11(水・祝)

●大ホール

角野隼斗
全国ツアー2026

16:00開演

【お問い合わせ】
秋田朝日放送事業部 TEL:018-888-1505

3/8(日)

●大ホール

小泉今日子公演



18:00開演

【お問い合わせ】
キョードー東北 TEL:022-217-7788

1/24(土)

●大ホール

めざましクラシックス
in秋田Vol.24

15:00開演

【お問い合わせ】
秋田テレビ事業部 TEL:018-866-8030

2/14(土)

●中ホール

清水ミチコ公演



17:00開演

【お問い合わせ】
キョードー東北 TEL:022-217-7788

3/8(日)

●中ホール

小遊三・昇太・木久蔵
競演会

14:00開演

【お問い合わせ】
秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

1/24(土)25(日)

●中ホール

舞台「飛び立つ前に」



14:00開演

【お問い合わせ】
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

2/15(日)

●中ホール

山形交響楽団×ミルハス
親子で楽しむクラシック

13:30開演

【お問い合わせ】
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

3/15(日)

●大ホール

葉加瀬太郎公演



16:30開演

【お問い合わせ】
キョードー東北 TEL:022-217-7788

1/25(日)

●大ホール

秋田中央高校吹奏楽部
第18回ウィンター
コンサート

15:00開演

【お問い合わせ】
秋田中央高校 TEL:018-845-0921

3/1(日)

●中ホール

平原綾香公演



16:00開演

【お問い合わせ】
秋田朝日放送事業部 TEL:018-888-1505

3/15(日)

●中ホール

あきた民謡フェス
vol.3

13:30開演

【お問い合わせ】
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

2/1(日)

●大ホール

ミラクルひかる&
ほいけんた ものまね公演

14:30開演

【お問い合わせ】
秋田テレビ事業部 TEL:018-866-8030

3/5(木)

●大ホール

市川團十郎
特別公演

14:00開演

【お問い合わせ】
秋田テレビ事業部 TEL:018-866-8030

3/26(木)

●大ホール

辻井伸行×清水和音
究極の協奏曲コンサート
ラフマニノフ・スペシャル

19:00開演

【お問い合わせ】
秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

※チケット売

※掲載しているのは公演・イベントの一部です。

情報は12月中旬時点のもので、「チケット売」の記載がない公演でもお読みになった時点では売切れている場合があります。ご了承ください。

Mille Has information

0歳から観覧可! 泣いてもOK! ママも安心!

「親子で楽しむクラシック」初開催

0歳から観覧できるクラシック演奏会「山形交響楽団×ミルハス 親子で楽しむクラシック」が2月15日、あきた芸術劇場ミルハス中ホールで開催される。山形交響楽団による弦楽八重奏を届ける。

小さな子ども連れでも安心してクラシックに親しめる機会を提供しようと、ミルハスが初めて企画した。キッズスペースや授乳・おむつ替えスペースあり。ベビーカーでの来場も可。

公演時間は約60分。ジブリ映画音楽「もののけ姫」や「君をのせて」、ディズニー音楽の「星に願いを」、モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク第1楽章」など多彩な曲を演奏する予定。

公演概要

- ◆日時: 2026年2月15日(日) 13:30開演(13:00開場)
- ◆会場: あきた芸術劇場ミルハス 中ホール
- ◆料金: 子ども(0歳~小学生) 500円
一般(中学生以上) 1,000円

【プレイガイド】ミルハス公式サイト/ミルハス1階管理事務室/
電話予約(ミルハスTEL:018-838-5822)
主催/あきた芸術劇場ミルハス



▲詳細はこちら

子どもたちと一緒に歌ったり手をたたいたりするコーナーもある。

午後1時半開演(1時開場)。小学生までの子どもは500円、一般(中学生以上)は1,000円。全席指定。

※お子さまが膝上に座る場合でもチケットの購入が必要です。



山形交響楽団の出演メンバー。弦楽器の優美な音色をお楽しみください



手元に1冊の台本がある。あきた芸術劇場ミルハスの自主事業として1月24、25両日に中ホールで上演される舞台「飛び立つ前に」(6ページに出演者岡本圭人さんインタビュー)で使われるものだ▼物語の舞台はバリ郊外の一軒家。半世紀連れ添っ

た夫婦の老い先に娘二人が絡む。巧みな謎掛けでぐいぐいと引き込む作品でもある。台本を読み始めてすぐ違和感に襲われた。会話の内容が人物構成とかみ合わない。やがて正体のあいまいな人物が現れて思い出などを語りだし、はかりごとの気配もし始める▼フランスの作家フロリアン・セレルさんの手による戯曲を、英ガーディアン紙は「21世紀最高」の一つに数えた。作中で謎解きがされないこともあり作品の解釈は人により大きく異なるそう。そこにも作家の意図がありそう▼混迷に光が差し込むような美しい終幕と、残された謎のうずき。その対比は、作家から観客への問い掛けではないか。台本を読み終え、終

幕の「その先」を空想した。あまりなかった経験だ。やはり台本を読んだ同僚が奇しくも同じ「その先」を空想したという。ただ、そうなると思った理由は真逆だった▼台本だけでも読者を「その先」へ送り出すパワーがある。舞台では、橋爪功さんや若村麻由美さんら実力のある俳優たちの魅力と演技力、演出の妙味が加わる。一体どんな舞台になるのか▼あけましておめでとうございます。1月は芸術性の高いミルハス自主事業公演が続きます。「飛び立つ前に」に先立ち12日にはKバレエ・オプト「踊る。遠野物語」も。示唆に富むそれらの公演を観ていただけたら新年早々ホップ、ステップと、午年に弾みがつくこと請け合いです。



あきた芸術劇場
Akita Arts Theatre
ミルハス

<発行>あきた芸術劇場ミルハス
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

